

令和5年度 61回生 授業概要(シラバス)

科目名	フィジカルアセスメント	分野/教育内容	専門分野/基礎看護学
開講年次・時期	1年前期 令和5年5月10日	単位数/時間	1単位/30時間
担当講師名	秋田剛典	所属・役職	専任教員
		資格・免許	看護師 保健師
授業の概要	1. ヘルスアセスメントの意義と目的を理解し、必要とされる技術を学ぶ。 2. 看護者自身の5感を使って対象を観察することの重要性を認識する。 3. 人間を身体的・心理的・社会的に統合された存在として捉える重要性を認識する。 4. 対象の健康問題を把握し、適切な援助につなげるためのフィジカルアセスメントの技術、その中でも最も基本的なバイタルサイン測定の技術を習得する。		
到達目標	1. フィジカルアセスメントの基本技術である診査の技術を習得する。 2. バイタルサイン測定の意義と目的、その方法を理解する。 3. 対象を身体・心理・社会の3側面から系統的にアセスメントする必要性とその方法を理解する。		
事前学習内容	解剖学Ⅰ、生理学Ⅰの学習内容を復習しておく(特に骨格・筋、循環器、呼吸器)。		
成績評価の方法	試験(100点) 講義や演習への参加状況によっては減点の対象となる。		
使用テキスト・参考書	1. 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[2] 基礎看護技術Ⅰ [第19版第1刷] (医学書院) 2. 看護技術プラクティス [第4版] (学研メディカル秀潤社) 3. フィジカルアセスメントポケットBOOK (照林社)		
授業回数	授業概要(主な学習内容)	授業形態	使用テキスト以外の必要物品
第1回	ヘルスアセスメントとは	講義	
第2回	問診の技術		
第3回	診査の技術(視診、触診、聴診、打診)		聴診器
第4回	バイタルサイン(体温)		体温計
第5回	バイタルサイン(脈拍)		アナログ式の時計
第6回	バイタルサイン(呼吸、意識)		アナログ式の時計 ペンライト
第7回	バイタルサイン(血圧)		聴診器
第8・9回	血圧測定	演習	血圧計
第10回	バイタルサイン測定	演習	聴診器 血圧計 アナログ式の時計 クリップボード
第11回	計測、心理・社会状態のアセスメント	講義	
第12・13回	系統的なフィジカルアセスメント	講義	
第14・15回	系統的なフィジカルアセスメント	演習	第10回と同じ
履修上の留意点	1. 演習形式での授業が多い。演習では積極的に参加し、技術の習得に努めてほしい。 2. 8回目以降の演習には実習着で臨んでもらう。 3. 使用テキスト、参考書に、本授業に関連した動画を視聴できるQRコードが掲載されている。事前学習として動画を視聴しておいても良い。 4. 聴診器と血圧計は、本授業以後も臨地実習で使用するため、使用後はメンテナンスする習慣をつける。 5. 聴診器や血圧計に不具合・故障が発生した時には、担任・副担任に相談し、基本的には購入元(県立宮古病院の地下1階にある「ケアテック」)に個人で修理依頼すること。 6. 聴診器と血圧計同様に、アナログ式の時計は今後の臨地実習でも使用する。腕時計でも吊り下げ式でも型は問わないので、事前に準備しておく。		